



中国におけるAIの 知的財産への応用



LIU Yi
Public Service Department, CNIPA
Nov. 2022

内容

1

AIの開発状況

2

知的財産におけるAIの開発および応用

3

知的財産におけるAI応用の今後の展望



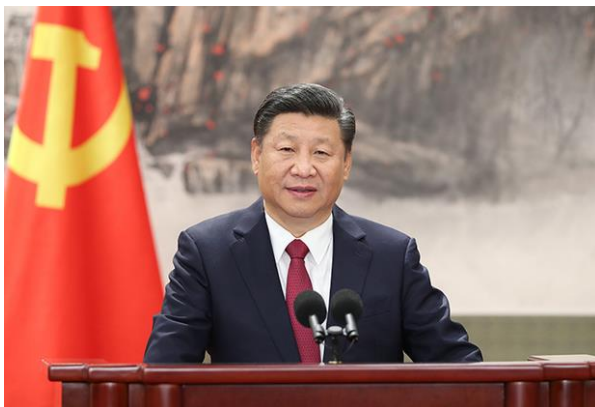
1

AIの開発状況



1. AIの開発状況

1.1 中国政府はAIの開発を重要視



アカデミー総会

サイバーセキュリティと情報化に関する全
国実務者会議

新世代AIの開発を加速させることは、中
国が技術革命と産業転換の新たな局面
での機会を得るための鍵となる戦略的
課題

1. AIの開発状況

1.1 中国政府はAIの開発を重要視

国务院

新世代AIの開発計画

国の省庁・委員会；地方
自治体

AI開発を促進する複数種の政策

5

1. AI開発の状況

1.2 AI技術の開発



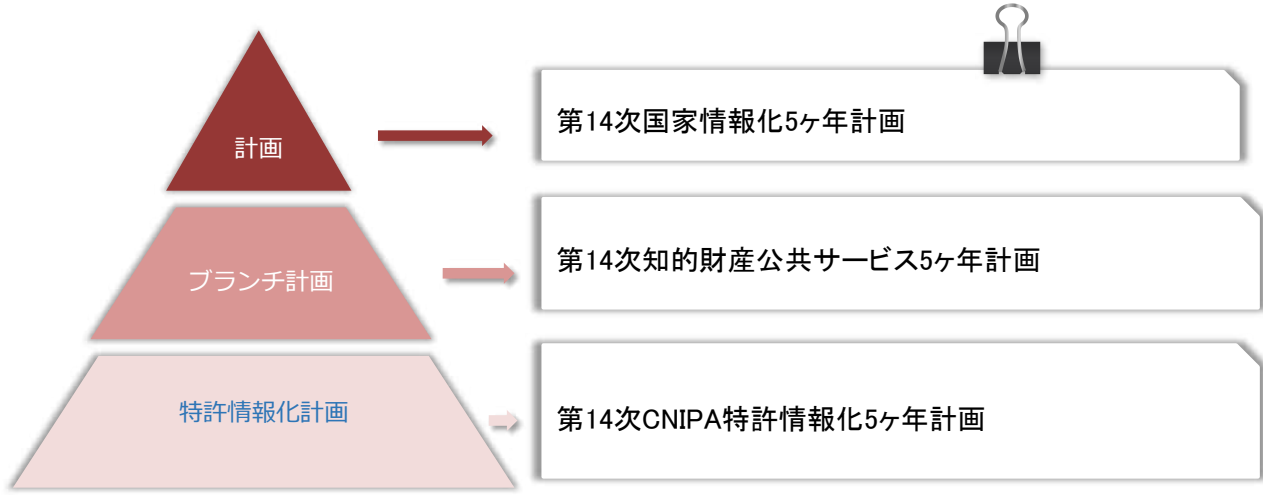
科学技術革命と産業転換の新たな局面が深化；
新しい情報技術の革新と統合、国際交流が拡大
ますます差し迫った革新的な国づくりと高品質な開発の実現

特許情報システムは、知的財産と科学技術イノベーションの高品質な開発を支える根幹

-CNIPA-

1. AI開発の状況

1.3 特許情報化のトップレベルデザイン



7

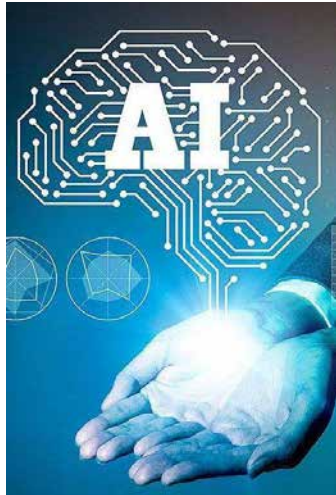
2

知的財産におけるAIの開発および応用



2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.1 AIの研究



- 技術的特徴マイニングに基づく特許価値評価の指標システムに関する研究
- 特許検索におけるAIの応用
- 特許審査における意味解析技術の応用に関する研究
- AI技術に基づくCPCインテリジェント分類の研究

9

2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.2 AI技術の応用による機械翻訳の品質向上

中国特許情報センターは、混合戦略に基づき、早くも2008年には初の中国特許文献の中英機械翻訳システムを公表し、CNIPAのウェブサイトを通じて、中国特許情報のオンライン中英機械翻訳サービスを一般に提供



10

2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.2 AI技術の応用による機械翻訳の品質向上



2019年、中国特許情報センターは、特許分野にニューラルネットワーク機械翻訳技術を導入

多言語ニューラルネットワーク機械翻訳システムが、国家知的財産局のインテリジェント特許検索分析システムへの適用に成功

2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.3 AI技術を応用した知的特許管理をいち早く実現

中国專利技術開發公司是、特許ビッグデータを十分に活用し、インテリジェント特許価値評価および特許管理製品（IP7+特許階層管理システム）を自主的に開発し、インテリジェントツールの利点を生かしてビッグデータの潜在力を引き出し、特許資産の活性化を加速させた



2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.3 AI技術を応用した知的特許管理をいち早く実現

ビッグデータ、クラウドコンピューティング、分散コンピューティング、およびディープラーニングや意味認識などのAI技術を応用し、特許の格付けおよび評価を実現

ビッグデータや専門家の評価を参考に特許価値を分類し、分類の管理、ラベルの管理を実施

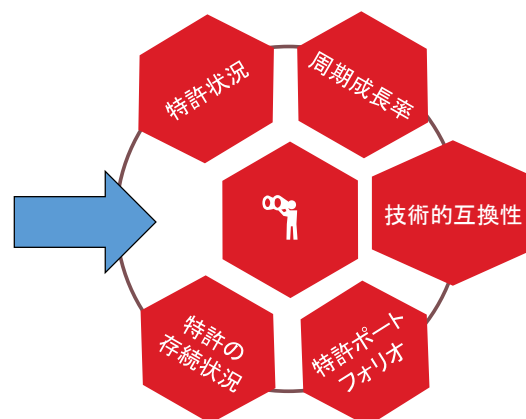
システムは、AIアルゴリズムを利用して特許引用情報のビッグデータを解析し、対象技術の潜在的な需要者、競合他社、産学研究パートナーに推薦

13

2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.3 AI技術を応用した知的特許管理をいち早く実現

特許情報分析システムは、特許情報の整理、検索、管理、分析を統合したプラットフォームで、特許分析データの統計処理や補助作業の処理に利用可能



14

-CNIPA-

2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.4 AI技術の応用による特許審査の品質改善と効率化



2. 知的財産におけるAIの開発および応用

2.5 AI技術を応用した特許分類およびデータ処理



3 知的財産におけるAI応用の今後の展望

3. 知的財産におけるAI応用の今後の展望

3.1 AIのための基礎データおよび技術の蓄積強化



AIの応用には、データが基本



AI分野での継続的な応用研究を実施

3. 知的財産におけるAI応用の今後の展望

3.2 AI応用システムの機能を着実に改善し、知財分野におけるAIの新たな応用を開拓



既存のAI応用システムの機能改善

- 多言語ニューラルネットワーク機械翻訳システム
- 知的財産価値評価および管理製品
- 知財審査および検索のための知的システム
- その他のシステム



知財分野におけるAIの新たな応用を開拓

- 知財分野におけるAIの応用をさらに開拓
- 特に、知的財産の公的情報サービスにおけるAI技術の応用の可能性に注目

3. 知的財産におけるAI応用の今後の展望

3.3 AI技術における国際交流および協力の強化

知的財産の情報化における国際交流と協力を様々な手段で強化し、特にAIやビッグデータ、クラウドコンピューティングなどの新技術を応用し、また各国が相互に補完し合うことで急速な発展と改善を推進し、市場全体に良いサービスを提供する。





国家知识产权局 公共服务司

CNIPA. Public Service Department

ご清聴
ありがとうございました！

